

保健所運営協議会開催結果報告書

令和5年度	日時	令和5年7月5日(水) 午後2時～午後3時	出席者	委員 14名 職員 21名 傍聴者 0名	協議会 役員名	会長 島田 智明 副会長 森田 昌吾 副会長 藤岡 洋	
	場所	大阪府富田林保健所 2階講堂					
議 事	議事の要点		委員からの質問・意見		保健所の回答		付記
富田林保健所管内の公衆衛生の動向	富田林保健所の事業運営及び管内の公衆衛生の動向について説明		(1) 国民健康・栄養調査について、大阪狭山市は世帯数人員が0となっているが何故か。 (2) 国民健康・栄養調査は毎年行われるのか。		(1) 当該地域にて、会場を設営し、調査を実施したが、来場者数が0であったため。 (2) 府域では毎年実施されているが、調査地区は国が決定するため、当保健所管内で毎年実施されるかどうかは分からない。		
新型コロナウイルス感染症の対応	・新型コロナウイルス感染症の3年間の振り返り ・発生動向について ・富田林保健所の取組み状況 ・障がい者福祉施設におけるクラスターの事例紹介		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も感染症対策の中心は高齢者施設、クラスター対応であるように思う。</li> <li>流行下での施設への往診や在宅医療、訪問看護はやる気・善意では通常診療との両立も困難で継続性が期待できないように感じる。</li> <li>OCRTのような診療もできる専門チームにお金を投入すべきである。そうでないと次のパンデミックに対応できないように思う。</li> </ul>		保健所としてはいただいた御意見等を踏まえ、引き続き関係機関との連携を密にし、圏域全体の公衆衛生の向上等に努めていく。		